

平成29年度 阿賀町立三川小学校 スマイルプラン (ランドデザイン)  
 ~『一人一人が輝く地域の希望となる学校』 を目指して~

やさしい子 **教育目標** をして がんばれる子

☆中学校区で育てたい「未来を切り拓く資質・能力」☆



知・徳・体を貫く柱 (重点目標) 「課題を自覚し、考え、話し合う」

**知(確かな学力)**

思考力・判断力・表現力  
 学ぶ意欲

<成果目標>

- ☆単元テストの平均が各観点で80%以上 (国算)
- ☆学年×10分以上の家庭学習を行っている児童の割合が85%以上
- ☆授業で学習したことは、ふだんの生活や社会に出たとき役に立つと思う児童の割合が80%以上

<教育活動>

- UDLによる分かる授業
- 課題を自覚し、考え、話し合う授業
- 家庭学習の徹底

<達成のための手立て>

- ◆三川小版UDLの実践
- ◆Web配信問題を活用した授業改善サイクルの実践
- ◆課題設定と話し合いに着目した授業研究
- ◆カードの活用による家庭学習の可視化
- ◆小中連携による家庭学習強調週間の設定

**徳(豊かな心)**

思いやり  
 話し合い、協力する力

<成果目標>

- ☆友達に優しく接している児童の割合が85%以上
- ☆学校生活をよりよくしようと協力して活動している児童の割合が85%以上

<教育活動>

- 特別活動、総合、生活等における異学年・異年齢交流活動の充実
- 特別活動(学級・委員会・縦割り班)、道徳の授業における話し合い活動の充実

<達成のための手立て>

- ◆園児、中学生、地域住民との異年齢交流活動の場の設定
- ◆児童が主体となった活動と話し合いの場の設定
- ◆Q-Uアンケートの活用による児童理解と学級の見取り
- ◆学校生活アンケートと情報共有によるいじめを見逃さない体制づくり

**体(健やかな体)**

持久力  
 メディアコントロール

<成果目標>

- ☆体力テスト70項目が県平均以上
- ☆望ましい生活習慣を達成した児童の割合が80%以上

<教育活動>

- 落ち込んでいる体力要素を向上させるための体育の準備運動の活用
- 20分休みを活用した取組(ランニング、縄跳び等)
- 「メディアの使用2時間以内」を柱にした生活習慣の見直し

<達成のための手立て>

- ◆体力テストを年2回実施
- ◆目標を持ち、主体的に運動に取り組みさせるためのカードの活用
- ◆自分の生活を振り返り、めあてをもたせる場の設定
- ◆小中連携による生活改善強調週間の設定
- ◆たよりやテレビ電話を活用した保護者への啓発

<推進の基盤>

「地域教育プログラム」の  
 全校体制での推進

- 地域素材を使った学習
- 地域人材を活用したキャリア教育
- 地域への発信・貢献

「家庭」「地域社会」との  
 連携・協働

- きめ細かな情報連携
- 保護者・保育園・町内各校・関係機関との行動連携
- 地域ボランティアの活用

「特別支援教育」の視点  
 に立った指導や支援

- UDLによる学習指導
- 教え、考えさせる生徒指導
- 個に応じた指導・支援